

第6回 議会改革特別委員会の概要

○開催日時:平成26年3月24日(月)午後1時30分～午後3時31分
○開催場所:市庁舎5階 第1委員会室

○出席委員:小川正人(委員長)、山谷清(副委員長)、澁谷政義、
管野恭子、佐久間儀郎、山田裕一

○傍聴者:伊藤勝美議員、水落孝子議員

1. 条例素案策定③

◆白石市議会基本条例にどのような事を盛り込むのか、その理由や盛り込む際に課題となることを話し合いながら、盛り込むべき項目を検討しました。

⑩緊張関係の保持

- ・議会審議における議員と市長等との関係については、緊張関係を保持することを規定する。

⑪一問一答と反問権

- ・議案の審議は、本会議を中心に行い、市民にわかりやすい議会運営を目指す。
- ・本会議における議員と市長及び執行機関の職員との質疑応答は、論点を明確にするため、一問一答の方式で行うことを規定する。
- ・本会議質疑の一問一答について、6月議会から試行する。
- ・市長等による反問権は、現行の運用(質問内容の確認など)を維持するが、今後全議員で検討をしたうえで運用拡大も研究していく。

※この続きは、次回の委員会で検討します。

2. 2月議会（一問一答及び分科会）の検証

◆ 2月議会において一般質問は、次のことを試行しました。

- ①一般質問の方式を、一問一答に統一して行った。
- ②質問者は初めから登壇せずに質問者席で質問を行う。
- ③一つの質問毎に、質問と答弁を繰り返して行う。

～委員から出た意見～

- 一問ごとのやりとりになるので、とても聞きやすかった。
- 質問によっては、次の質問に関連した答弁が含まれているケースがあった。
- 質問者側、答弁者側が状況に応じてやり取りを考える必要がある。
- 質問方式は統一した方が傍聴者にも分かり易いことから、一問一答に統一したほうが良いのではないか。

※次の定例会でも、今回の試行を継続することを確認した。

- ◆ 2月議会での当初予算に係る分科会審査では、次のことを試行しました。
 - ①分科会での討論と採決は行わない。
 - ②予算審査特別委員会における分科会長報告では、質疑の内容についての報告とする。

～委員から出た意見～

- 分科会では討論と採決を行わなくて良いと感じた。
- 分科会そのもののあり方(必要性)についても議論が必要。(予算審査特別委員会で細部まで審査すれば良いのではないか。)

3. その他

- ◆次回は、平成26年4月2日(水)午後1時30分から開催(予定)することになりました。